

**子ども学科**

## 【出題意図】

次代を担う人材育成という重要な職責を持つ保育者を目指して、本学にて子ども学を学びたいと望む受験生が、子どもをとりまく遊び環境をめぐる社会的・文化的状況に関心を持ち、子どもの遊びの重要性を認識し、子どもの発達等にもつきながら、また自らの子ども時代を想像的に振り返りながら、遊びを豊かに創造できる。

また、それを具体的に、他者によりわかりやすく、論理性・一貫性をもって、規定された文章量において簡潔に表現することができる。

(100点満点)

**家族・地域支援学科**

## 【出題意図】

出題で問われているテーマへの視点のあり方と論理的思考力の有無を試す記述式問題である。人々の生活や地域資源に対してどのような知識や経験を持っているか、及び本学科での学びへの目的意識がどの程度あるのかを見ることをねらいとする。また、出題で問われていることを正確に理解する読解力と、自分の考えをまとめて文章へと練り上げる表現力が求められている。

(100点満点)

**子ども心理学科**

## 【出題意図】

本課題をとおして、自分の将来像を想定し、それに向かう大学の学びを意識化することを目的とする。特に、自分自身と心理学の接点を言語化し、意識化することで、入学後の方向性や発展性、自分のオリジナリティの学びをデザインすることを期待したい。

さらに、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーなど、いわゆる三ポリシーを把握したうえで、自分なりの意見として論拠を持って述べられるか、客観的妥当性、論理的整合性、シラバス検索能力、文章構成能力を問う設問になっている。

(100点満点)

**教育学科**

## 【出題意図】

本課題は、学科のアドミッション・ポリシーに記載される「学校教育ならびに教育にまつわる諸課題に関心があり」という個所に、該当する受験生であることを確認するために設定したものである。また、入学後を見据えて、学科のディプロマ・ポリシーに記載される「子どもの心理や多様なニーズに配慮しながら成長や発達を援助することに対して、教育学の知見に基づく自己の考えを持ち、それを表現し、行動することができる」資質を有する受験生であることも確認を進める意図がある。

今日の学校現場が直面している課題を正しく認識し、その課題に対して、自らの考えに基づいて教育実践に取り組もうとする姿勢を有しているか、記述内容から評価したいと考えている。

(100点満点)

**保育科**

## 【出題意図】

近年、新型コロナウイルス感染症（COVID19）の感染拡大に備えた外出自粛により子どもの運動機会が減少したということが言われている。これに伴う子どもの体力や運動習慣の低下は、今後の心身の成長に大きな影響を及ぼすことが予想される。保育の場面や家庭、さらには、学校生活において運動する経験が重要になってくるであろう。そこで、運動遊びを取り上げ、教材研究の導入としての課題に取り組んでもらい、現在の子どもの運動遊びをどのように展開するとよいか、そして、自身の経験を踏まえ、どのように運動遊びを捉えているのか、現在の考えや思いを問う。

(100点満点)